

# 千年の森便り No.123

2013.12.18

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

12月8日(日) 晴

参加会員は新井夫妻、新井通子、伊藤、岩崎夫妻、鶴沢、久我夫妻、坂本、中田夫妻と子供達、福島、根本、松田、真鍋、村野、山口、新入会の大原さんも参加し総勢24名。関東一遅い紅葉と色とりどりの木の実に彩られた森で、二ホンジカ調査に続き、前回残りのコナラ林伐採、古いシイタケホダ木の片づけなどに精を出し、冬の冷え込みを忘れて温まりました。子供達は森の遊びを次々に見つけて楽しんでいました。(真鍋)



落葉した森の遅い紅葉

### ○二ホンジカ生息状況調査

10時から約1時間、いつものように7コースに分かれて島内を一斉に踏査し、二ホンジカの生息状況調査を行いました。今回は、コナラの葉が落ちて林内が明るくなり、見通しが良い時期の調査となりました。結果は、フンと足跡は見つかりましたが、二ホンジカの確認はありませんでした。二ホンジカは林縁の動物と言われ、身を隠すヤブと餌場となる草地がある場所を好みます。見通しが良くなる冬の時期、豊英島は二ホンジカにとって住みよい環境と言えるのでしょうか？(福島)



出発前の班編成と調査指示

### ○森林整備 先月に引き続きコナラ林の伐採更新に取組みました。

全体で19本の伐採を行います。前回の10本に引き続き今回7本(コナラ5、ウラジロガシ1、エンコウカエデ1)を伐採しました。まだ、林内は伐採した樹木が重なり合った状態ですが、林冠には大きな空間ができて今後どのような森林に更新(世代交代)していくかが楽しみです。

伐倒作業は、根本、山口、久我、新加入の大原会員が中心となって実施し、重心や伐倒方向をはじめ、受け口、追い口の位置や大きさなどの検討を慎重に行いながら進め無事終了しました。他の参加者も、周囲の片付けや、ロープの牽引、安全確保の見張りなどに力を合わせて取り組み、いい汗をかきました。作業後の集合写真の満足そうな顔をごらん下さい。

伐採された一部は20センチほどの小丸太となって、東京ビックサイトで開催されるエコプロダクト(千葉里山センターブースの「この木何の木」ゲーム)に使うため、新井会員が持ち帰りました。(伊藤)



伐採後の真剣な検討と反省



作業終えて満足そうな顔

## ○ホダ木整理

2003年にシイタケ栽培が始まり、その後発芽しなくなったホダ木は、そのまま放置されていて、景観や安全面からも整理する必要がある、今回、6名のメンバーで整理しました。

04～07年のホダ木を、設置された場所に俵積み重ねて自然に腐朽する様にしました。この中から、カブト虫や新たに椎茸が発芽したら面白いなと期待しています。（久我）



古いホダ木は俵積み

## ○植物調査

新井通子さんはツツジ科スノキ属のシャシャンボを見つけました。豊英島では362番目の確認種です。千葉県以西に自生する常緑低木。葉の裏主脈の小突起が決め手。秋には美味しい黒紫の実（液果）をつけるとのこと。一見サカキ等に似ていて目立たないせいか、今まで11年間見落とされてきました。改めて、新井さんの注意深い観察眼に脱帽です。（真鍋）



ツツジ科 シャシャンボ



ウリカエデ



ネジキ



ヤブムラサキ



コバノガマズミ

## ○野鳥記録

朝一番に吊り橋を渡る途中で20～30羽の小鳥の群れがホテイ岬近くを飛んでいるのが見えましたが、種類は判別出来ませんでした。カワラヒワ、マヒワ、アトリなどの可能性があります。その後はシカ調査のために島内の隅々まで人が入った事、更に千年広場で伐採のエンジン音が響いていたせいか、野鳥は極端に少なく朝の不明種を含めて8種しか観察出来ませんでした。（坂本）

## 紅葉の豊英島で伐採

大原則彦会員

穏やかな冬晴れ。紅葉真盛の豊房島で伐採のボランティアをしました。午前中のシカの調査を終え、コナラなどの雑木の伐採をしました。いつも自己流の森林伐採をしていますが、今回は、いろいろな知恵を持ち寄り、大人数での伐採です。ロープの縛り方、引き方など、今まで考えつかない事に目から鱗でした。

私は普段ログハウスの大工をしています。木を切断するより、彫刻するという方が近い仕事です。もともとチェーンソーは鋸の機能より彫刻刀に近い機能です。道具はどれもそうですが、道具に仕事をしてもらう事が重要とログビルダーの先輩からは教えられました。肩に力を入れず、道具が仕事をし易い様に、導けと言われました。切ろうとするな。木と仲良くし愛撫するように導け、とも言われました。なかなか慣れないとできませんが、この頃、木が愛しくなる瞬間があります。名前や生態などよりも感覚で感じるものが重要な気がしています。

千倉の山の中にこんな立看がありました。「自然保護とは、人間が自然を保護するのではない。自然が人間を保護している事を認識することである。」なかなかの名言かと思いました。

大きな災害の続く昨今改めて自然の偉大さに脱帽する一日でした。



## 親子で楽しんだ晩秋の豊英島

中田真也子会員

12月8日、豊英島は少し冷え込んでいましたが秋の風景が美しいおだやかな1日でした。他のメンバーの方々は伐採がメインの活動だったのですが、私たち親子は動植物を観察したり、落ち葉集めをしたりしました。

豊英島の紅葉（黄葉）は、高木の幹の茶色に映えて街中で見るのと一味違って美しかったです。街中の紅葉（黄葉）は、ほとんど散ってしまっているのに何故まだこんなに綺麗な紅葉（黄葉）が見れるの？と疑問に思っていたところ、坂本さんが「林の中に生える中低木は、高木が葉を落とした後やっと十分な光が受けられるので、最後までがんばるのではないか。」と教えてくれました。納得です！この夏は、ひどい猛暑だったにも関わらず植物は昨年以上に実り、きれいに紅葉（黄葉）しているように感じました。暑さは、豊作につながるのでしょうか？

子供たちは、「花より団子」ならぬ「紅葉より遊び」といった感じ。森の中にいると、どんどん楽しいことが見つかるようで、それぞれ分かれて遊びに夢中でした。落ち葉を集めた場所を掘って大きなカブトムシの幼虫がうじゃうじゃいるのを見つけたり、作業用の手押し車で人力車をやったり、材木を自分で切って手作りのシーソーを作ったり、最後は、切り倒された木々の上をジャングルジムのようにして全員で遊んだりしていました。沢山遊んで大満足の1日だったようです。帰りの車は全員熟睡でした。いつも子供たちを優しく見守ってくださるメンバーの皆様に感謝します。



自分で木を切って見る



森の人力車



森のジャングルジム

\*\*\*\*\*

## ○12月15日(日)晴 臨時活動日 残りの伐採作業

参加者は、伊藤、苅米、久我、福島、根本の5名。

11・12月の作業で残った伐採6本とかかり木の処理に取り組み、根本さんの周到的な準備、久我さんの奮闘、苅米さんの指導よろしきを得て、無事終了しました。大きく開いた空間から見る冬の青空が何とも印象的でした。

また、この3月に植菌したヒラタケの初物が一つだけ出ていました。

(伊藤)



広がった青空



チルホールに汗をかく



伐採無事終了ホッと一息



ヒラタケの初物

## お知らせ

### ○新入会員の紹介

10月から活動に参加されている南房総市の大原則彦さんは12月8日入会されました。大原さんは白子で「自然と共生する宿 コテージ ログキャビンナチュレ」を営みながら自然との共生を実践、ログハウスづくりなど木工の腕前も確かとのこと。今後「千年の森」活動でのご活躍に期待します。

○1-3月の定例活動日 定例活動日の日程は年度計画の通りですが、森林整備やキノコ植菌などの都合により、各月の活動内容を下記のとおり変更します。同時並行で複数の活動を行う必要がありますので、多くの会員の参加協力をお願いします。集合場所・時刻は今まで通り県民の森駐車場・9時30分です。

1月19日(日) 伐採木の造材(枝払い、玉切り)、ホダ場保護柵補修、巨木林生長量調査、野鳥調査

2月16日(日) 照度調査、伐採地の植生保護柵設置、植物調査、マダケ林調査、野鳥調査

3月16日(日) ニホンジカ生息状況調査、シイタケ等植菌、食害調査、植物調査、野鳥調査、ヒメコマツ成長量調査(未定)

○森林研究所の成果発表会 2月13日(木) 午後 於山武市さんぶの森文化ホール。

発表1 間伐材を活用した低コストで防護効果の高いシカ侵入防止柵 岩澤 勝巳主席研究員

発表2 苗木を用いたスギ非赤枯性溝腐病抵抗性の早期評価法 幸 由利香研究員

発表3 竹林内における放射性セシウムの分布状況と経年変化 廣瀬 可恵研究員

発表4 長伐期林において直径成長の予測に有効な指標は何か 福島 成樹主席研究員

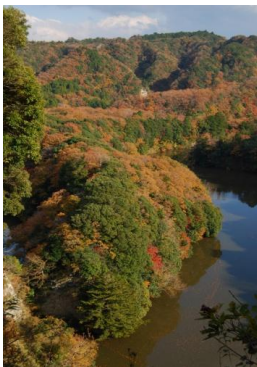
廣瀬さんは「千年の森」設立準備委員として、また会設立後は役員として「千年の森」の立ち上げに貢献された方、福島さんは現役会員として会の活動に尽力頂いていることは周知の通りです。

いずれの発表も私たちの森づくり活動に有益な興味深い内容です。ご都合のつく方は是非ご参加下さい。

### ○Face Book の閲覧・投稿について

ちば千年の森をつくる会ホームページ <http://toyofusajima.digi2.jp/> のトップページ末尾にある Face Book にログイン、閲覧し、情報や画像の投稿も出来ます。ホームページや千年の森便りには掲載可能な記事も画像も限りがありますが、Face Book には自由に、その時々の記事や感想や画像を投稿出来ます。積極的に活用し、会員相互の情報交換にご活用ください。

不明の点は [sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp) 伊藤事務局長までお問合せ下さい。



豊英島全景 11月26日(福島)

会員の皆様のご協力により  
年内の活動を無事終了出来ました  
年明けには沢山の仕事がありますが  
ご協力よろしくお願いします

健やかに良い年をお迎え下さい



一般財団法人

セブン・イレブン記念財団

この活動は、一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けています